



あたまの健康管理

Peg Amore ペグ・アモーレ

指認証により個々人のデータ管理が容易です

認知機能測定&訓練

- 2分間で簡単スピード測定
- ひとりで簡単測定、楽しく訓練
- 高齢者1000人のデータに基づいて認知機能レベルを表示
- 多数の訓練モードで脳のトレーニング



最長寿命国となった日本において、介護予防への取り組みは重要です。高齢者3461万人(平成28年)の4人に1人が認知症またはその予備群と言われており、あたまの健康管理がとても大切です



※ペグ・アモーレは、認知症の診断・治療・予防を目的とした医療機器ではありません。

ご使用方法

HOW TO USE

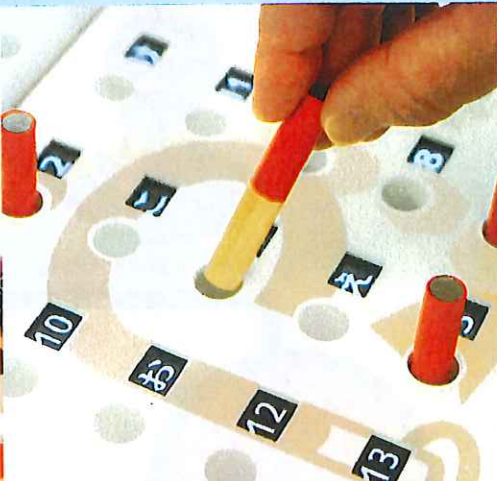
1. 最初に性別と年齢を設定します。
2. 次に「開始」鈕を押して測定開始、ランダムに表示された数字の小さい順にペグを挿入します。
3. 認知機能レベルの5段階評価が★で表示。

毎回表示が変わります



標準： ★3つの表示が標準レベルです。
要注意： ★2つ以下の表示が続くならば要注意です。

ご心配の場合は、しかるべき専門機関の窓口へご相談されることをおすすめします。



8週間のトレーニングを行った方に聞きました。

約70%の人が**楽しい**もしくは**やや楽しい**と感じています!

あたまの健康管理 ペグ・アモーレ 認知機能測定&訓練

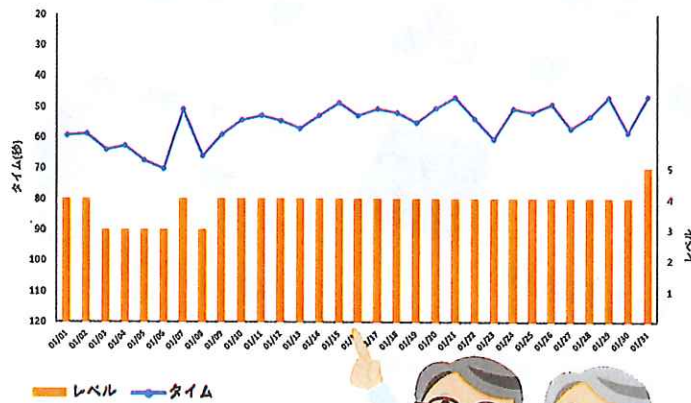
主な特徴

- ・ 2分間で簡単スピード測定
従来のは多くは10分程度かかっていました。
- ・ ひとりで簡単測定、訓練
従来のは多くは面談形式で行う検査でした。
- ・ 高齢者1000人のデータに基づいて
5段階評価を★の数で表示します。
元気なうちからあたまの健康管理に取り組みます。
- ・ 誰でも気軽にできます。
精神的な負担がかかりません。
- ・ 多数の訓練モードがあります。(右表)
- ・ 過去の経緯が把握できるので、訓練を楽しく継続的に
行うことができます

ペグ・アモーレをパソコンに接続することにより、
ペグ・アモーレ結果履歴の表示/印刷を行うことが
出来ます。

施設名: シロク
名前: 健康 太郎
性別: 男 年齢: 75歳

ペグ・アモーレ 結果履歴 モード: A-2



訓練モード表

難易度1は練習用の小規模、難易度2はフルサイズのランダム配置、
難易度3はフルサイズの固定配置 (C-3を除く)

- モードA: 数字による標準ゲーム (1、2、3と順番にペグを移動)
- A-1: 3*3, ランダム
 - A-2: 5*5, ランダム
 - A-3: 5*5, 固定配置 (トレイルメイキングテストPart-Aに似たもの)
- モードB: 数字・平仮名混在の標準ゲーム。(1、あ、2、い、3という順番)
- B-1: 3*3, ランダム
 - B-2: 5*5, ランダム
 - B-3: 5*5, 固定配置 (トレイルメイキングテストPart-Bに似たもの)
- モードC: 数字による集中力持続モード (ペグを入れて、抜いてを繰り返す)
- C-1: 3*3, 全ステージランダム
 - C-2: 5*5, 全ステージランダム
 - C-3: 5*5, 2ステージごとにランダム再配置
- モードF: フランカーモード (横に並ぶ記号のうち異なる記号を見つけ出す)
- F-1: 3*5, ランダム
 - F-2: 5*5, ランダム
 - F-3: 5*5, 固定配置(テスト用の規則的な物)
- モードM: 記憶モード (最初のパターンを覚えて、別の作業後に思い出す)
- M-1: 3*3, 表示5秒, ゲーム20秒, 回答5秒, ランダム3箇所
 - M-2: 5*5, 表示10秒, ゲーム30秒, 回答20秒, ランダム5箇所
 - M-3: 5*5, 表示10秒, ゲーム30秒, 回答20秒, 固定配置5箇所
- モードV: 動体視力モード (モグラたたきのように、光る箇所を追う)
- V-1: 3*3, ランダム
 - V-2: 5*5, ランダム
 - V-3: 5*5, 固定配置(テスト用の規則的な物)

従来のタッチパネルで行う製品と何が違うのか?

ペグ・アモーレと似たようなものに、タッチパネルのついたタブレットやスマートフォンにダウンロードして実行できるソフトウェアがあります。
これに対して、ペグ・アモーレはペグを使うことによって脳と直結する指先の動き(巧緻性)を取り入れたことと、認知機能テストとして世界的に定評のある「トレイルメイキングテスト」を組み合わせることにより、認知機能の測定精度が高く、訓練も楽しく行うことができるという特徴があります。

筑波大学 高細精医療イノベーション 研究コア長 大藏倫博 准教授が発明

筑波大学大蔵研究室では、身体機能と認知機能との関連性の研究を行う中で、身体機能のうちペグを操作する指先の動き(巧緻性)が認知機能と最も強く相関するということを見出しました。
その成果の下、ペグ操作と「トレイルメイキングテスト*」を組み合わせることにより、画期的な認知機能の測定・評価法が誕生しました。

*トレイルメイキングテスト
紙の上にランダムに記載された1から25までの数字を鉛筆で線を引ながら順番に辿っていき、その時間(秒)で評価する方法。認知機能の評価方法として妥当性や信頼性が高く、臨床分野で広く使われています。

株式会社シロクが電子化

非接触型センサーペグの開発に当社の特許技術を活かしました。
健康分野への進出にあたって、筑波大学の大蔵先生と出会い意気投合しました。元気な社会を作ることに関献したいと考えています。



筑波大学 大蔵倫博 准教授



(株)シロク 代表取締役 小川保二

Xiroku

株式会社 シロク

〒305-0047 つくば市千現2-1-6 つくば研究支援センターC-B-3
TEL:029-849-5200(代表)TEL:029-811-7000(営業直)
FAX:029-849-5201



・茨城県グローバルニッチトップ企業育成促進事業の委託で筑波大学とシロクが共同開発